

10日目 7月24日

会 場： 松江市営野球場

第1試合		～準々決勝～																
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
浜 田	0	0	0	0	0	2	5	0	4							11	11	2
益田東	0	3	2	0	0	0	0	2	3							10	13	2
(投手-捕手)																		
・ (浜)	波田→森井 - 網本																	
・ (益)	後藤→大野 - 元川																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (浜)	大井海、高木																	
・ (益)	佐野												武原、藤原、操					
(審判) [球審]	大畑				〔一塁〕 城市				〔二塁〕 杉原				〔三塁〕 宮野					
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(浜)	45	11	8	2	0	0	7	8	3	3	7	0		2	2	0	0	0
(益)	43	13	10	1	0	3	7	4	2	0	6	1		2	2	0	1	0

「浜田、計21得点の乱打戦制す！」

大会10日目、準々決勝第3試合は第2シードの益田東と浜田の対戦となった。両校は秋季大会の3位決定戦で対戦しており、この時は益田東が8対1の7回コールドで浜田を下している。益田東が後藤、浜田が波田の両先発で試合が始まった。

2回表、浜田は2塁打と犠打で1死3塁とし、8番網本がスクイズを仕掛けるが空振りし3塁走者が挟殺され好機を生かすことができない。直後の2回裏、益田東の4番武原が変化球をライトスタンドへ運び本塁打で先制する。更に無死1塁とし、6番藤原も直球を左中間スタンドに飛び込む2点本塁打を放つ。3回裏にも益田東は、2死2・3塁から7番三谷のライトへの適時打で2点を追加し、益田東がを5点リードで5回を折り返した。

流れが変わったのは6回表、浜田は安打と四球などで1死1・3塁とし4番上田がライトへの犠飛を放つと、盗塁で2死2塁とし5番岡のレフトへの適時打で、この回2点を返す。更に7回表、安打と盗塁で1死2塁とし8番網本がセンター前へ落ちる適時打を放つ。その後2死1・3塁とし、4回から好救援を見せる森井が左中間を破る適時2塁打で1点差に迫ると、2死満塁となり4番上田が左翼手と中堅手の間に落ちる適時打で2点を追加し、5点差を逆転すると暴投の間に更に1点を追加する。

益田東は4回以降浜田2番手、森井の好投に阻まれ無得点が続く中迎えた8回裏、2本の安打で2死2・3塁とし、8番佐野が右中間を破る適時2塁打で2点を追加し同点に追いつくと、続く9番大野がライト前へ安打を放つが、浜田右翼手の波田が好返球で本塁で刺殺し逆転は許さない。

9回表、浜田は安打と四球で無死満塁の絶好の好機を得ると、5番岡の一二塁間を破る適時打で勝ち越すと、相手失策と内野ゴロの間に得点し、この回一挙4得点の大量点を得る。しかし、益田東も9回裏に反撃する。安打と失策で1死1・3塁とし、4番武原の犠飛で1点を返すと、代打の操が左中間スタンドに2点本塁打を放ち土壇場で1点差に追い上げる。安打で2死1塁としたが、最後は7番三谷が投手へのゴロに倒れ、追撃が及ばず浜田が準決勝に進出を決めた。

両軍合わせて計24安打21得点の乱打戦となった。この結果、準々決勝までで4校のシード校全てが姿を消すこととなった。

